

皿倉登山鉄道株式会社

I 法人の概要（令和3年4月1日現在）

1 所在地

北九州市八幡東区大字尾倉 1481 番地の 1

2 設立年月日

昭和 32 年 3 月 1 日

3 代表者

代表取締役社長 吉田 茂人

4 資本金

10,000 千円

5 北九州市の出資金

10,000 千円（出資の割合 100.0%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	8 人	0 人	1 人	7 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	7 人	0 人	0 人	7 人
職 員	8 人	0 人	1 人	7 人

7 市からのミッション

本市の代表的な観光地の一つである皿倉山山頂への唯一の公共交通手段である皿倉山ケーブルカー等を運行することで、産業観光や夜景観光の誘致など皿倉山周辺地区への本市の観光戦略の一翼を担う。

II 令和2年度事業実績

当社は、皿倉山においてケーブルカー及びスロープカー施設を市から借り受けて運行している。あわせて皿倉山頂展望台の管理運営業務等を市から受託している。

令和2年度は、令和元年度の消費税増税に伴い、令和2年4月1日から運賃改定を行った。

【改定内容】

- ・ケーブルカー片道運賃 [大人] 420 円を 430 円 [小人] 210 円を 220 円
- ・スロープカー片道運賃 [大人] 200 円を 210 円 [小人] 100 円を 110 円
- ・ケーブルカー、スロープカー往復運賃 [大人] 1,200 円を 1,230 円 [小人] 600 円を 620 円

※1 ケーブルカーの運賃改定は、平成9年（消費税5%引き上げ時）以来、23年ぶりとなる。

※2 スロープカーの運賃改定は、平成13年（リニューアル）以来、19年ぶりとなる。

新型コロナウイルス禍の下、増客・増収対策として、これまで金・土・日・祝日及びイベント期間に限り実施していた夜間運行を拡大し、4月～10月を22時まで、11月～3月を20時まで（イベント時は、22時まで）とした。

更に、北九州市、皿倉登山鉄道(株)及び北九州ホテル協議会とで「皿倉山プレミアム夜景の日」実行委員会を立ち上げ、「皿倉山夜景観賞バスツアー」やイベントを実施し、利用者の増に努めた。

また、北九州市の需要喚起策「北九州観光トクトクプラン」及び「北九州魅力再発見キャンペーン」に参加し、ケーブルカー・スロープカーの利用促進に努めた。

1 輸送人員

年度当初より新型コロナウイルス感染拡大のため、約3ヶ月の休業を余儀なくされたが、国のGoToトラベル事業や北九州市の需要喚起策により、輸送人員は、ケーブルカーで前年度比9.6% (19,825人)減の187,100人、スロープカーは前年度とほぼ同人数の179,119人(前年度比73人減)となった。

2 営業損益

営業収益は、1億4,178万円(前年度比35万円減)となった。

営業費は1億4,372万円(前年度比285万円増)となり、当期の営業損益は193万円(前年度比320万円減)の赤字となった。

3 経常損益

上記営業損益に営業外損益を加えた当期の経常損益は、461万円(前年度比170万円増)の黒字となった。

4 当期純損益

上記経常損益から特別損益を加え、法人税等を差し引いた当期純損益では、453万円(前年度比169万円増)の黒字となった。

Ⅲ 令和2年度決算

1 貸借対照表

令和3年3月31日現在（単位：円）

科 目	金 額	科 目	金 額
（ 資 産 の 部 ）		（ 負 債 の 部 ）	
流 動 資 産	148,770,739	流 動 負 債	39,161,730
現金及び預金	110,511,879	買掛金	3,200
未収入金	11,543,320	一年内返済予定長期借入金	5,099,999
商 品	21,434,480	未払金	27,667,053
貯 蔵 品	966,535	預 り 金	775,878
立 替 金	4,280,150	仮 受 金	9,200
前払費用	34,375	未払法人税等	81,000
仮払消費税等		未払消費税	4,077,400
		賞与引当金	1,448,000
固 定 資 産	27,464,317	固 定 負 債	42,126,016
鋼索鉄道事業固定資産	25,689,964	長 期 借 入 金	41,000,016
その他事業固定資産	1,681,723	退職給付引当金	1,126,000
投資その他の資産	92,630		
出 資 金	10,000	負 債 合 計	81,287,746
長期前払費用	82,630	（ 純 資 産 の 部 ）	
		株 主 資 本	94,947,310
		資 本 金	10,000,000
		利 益 剰 余 金	84,947,310
		その他利益剰余金	84,947,310
		繰越利益剰余金	84,947,310
		（うち当期純利益）	4,533,959
		純 資 産 合 計	94,947,310
資 産 合 計	176,235,056	負 債 ・ 純 資 産 合 計	176,235,056

2 損益計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日 (単位:円)

科 目	金 額	
鋼 索 鉄 道 事 業		
営 業 収 益	96,722,916	
営 業 費	119,897,090	
営 業 損 失		23,174,174
そ の 他 事 業		
営 業 収 益	45,060,511	
営 業 費	23,820,662	
営 業 利 益		21,239,849
全 事 業 営 業 利 益 (▲ 損 失)		▲1,934,325
営 業 外 収 益		6,737,319
受 取 利 息 及 び 配 当 金	78,517	
雑 収 入	6,658,802	
営 業 外 費 用		188,035
支 払 利 息	179,200	
雑 支 出	8,835	
経 常 利 益		4,614,959
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益		
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損		
税 引 前 当 期 純 利 益		4,614,959
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		81,000
当 期 純 利 益		4,533,959

IV 令和3年度事業計画

平成22年度に策定した「経営改善計画」に基づき、平成23年度に市からの出資金を減資したことにより、それまでの16億円を超える累積損失を一掃し、平成24年度には減価償却費、維持管理費等の軽減を図るため、ケーブルカー等の事業資産を市へ譲渡した。

この資産譲渡にともなう減損処理により生じた欠損金についても、経営改善計画に基づく配置人員の見直しによる大幅な人件費の削減や、営業強化による収益の向上などにより、平成27年度末には解消した。

平成24年度以降は、毎年安定して利益を計上しており、令和3年度も引き続き経営の効率化、利用者サービスの向上、皿倉山の観光振興に努める。また、ケーブルカー、スロープカーの運行にあたっては、安全を第一とする良質な運行サービスを提供するため、引き続き以下の項目について重点的に取り組む。

1 「経営改善計画」の継続と人材の育成

経営改善計画に基づく、効率的で適正な運行、業務執行体制のための改善を継続していくとともに、事業継続のための人材の育成に努める。

2 安全運行遵守

「令和3年度無事故達成」をスローガンに、①安全意識の醸成、日常的な現場巡視による実情の把握と業務マニュアルの実践・遵守の徹底、②車両、運転施設の徹底的な点検、整備の実践、③同種事業や関連会社との情報交換会などの研修を通じたスキルアップを図る。

3 増客、増収対策

令和3年度も、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響による利用者の減少と感染拡大防止経費の発生により、経営環境は不透明な状況にあるが、政府及び関係機関の指導・指針に沿って、感染拡大防止に最善の努力をしていきながら、その都度必要な対策を講じ、可能な限り増客、増収に努める。

(1) 集客及び賑わい振興

新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底しながら、皿倉山の知名度の向上と環境学習・レジャースポットとしての定着を目指し、皿倉山の特性・優位性（夏は涼しい、景色、夜景、四季の変化）を活かした、イベントを体系的に連続して実施することにより、認知度の向上と費用対効果の改善を図る。

今年度は、「森のがっこう」「観望会（天体観測）」「星空ビアガーデン」「ミュージックフェスタ」「サタデーナイトライブ」「クリスマスライブ」「バレンタイン大作戦」等のイベントを実施する予定である。

また、イベントの実施にあたっては、市・区役所及び帆柱自然公園愛護会、地域団体等との連携をより深めていく。

(2) 夜間運行の実施

4月～6月、9月～10月は21時まで、夏休み時期の7月～8月は22時まで運行する。11月～3月については、20時までとする。今後も、北九州市の夜景観光に寄与していく。

4 乗客サービス向上

「お客様ご意見箱」やイベント時のアンケートなどにより顧客ニーズを的確に把握し、サービスに反映するとともに、「笑顔で心からのおもてなし実践」を、日常業務や接遇研修の中で従業員全員に指導徹底していく。

V 令和3年度予算

予定損益計算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日 (単位：千円)

科 目	金 額
鋼 索 鉄 道 事 業	
営 業 収 益	85,000
営 業 費 用	119,900
営 業 利 益 (▲ 損 失)	▲34,900
そ の 他 事 業	
営 業 収 益	38,600
営 業 費 用	23,900
営 業 利 益 (▲ 損 失)	14,700
全 事 業 営 業 利 益 (▲ 損 失)	▲20,200
営 業 外 収 益	1,700
営 業 外 費 用	190
経 常 利 益 (▲ 損 失)	▲18,690
特 別 利 益	
特 別 損 失	
税 引 前 当 期 純 利 益 (▲ 損 失)	▲18,690
法人税、住民税及び事業税	81
税 引 後 当 期 純 利 益 (▲ 損 失)	▲18,771

VI 役員名簿等

1 役員名簿

令和3年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	吉田茂人	
専務取締役	欠員	
取締役	大庭千賀子	北九州市企画調整局長
〃	中西満信	北九州市財政局長
〃	北里勝利	北九州市産業経済局長
〃	東義浩	北九州市建設局長
〃	島屋良一	北九州市八幡東区長
監査役	小島庸匡	公認会計士
〃	岩村恭代	北九州市産業経済局観光部長

2 市との特命随意契約の状況（令和2年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
皿倉地区観光 来訪者対応業 務	21,017	皿倉登山鉄道(株)が運行して いる鋼索鉄道等と一体的に 維持管理しなければ業務に 支障が生ずるため。	館内清掃	736	社会福祉 法人北九 州障害者 福祉事業 協会	随意契約 (特命)	障害者優先調達推 進法に基づく優先 発注のため。
			浄化槽保守	462	株式会社 枕組	随意契約 (特命)	山上という寒冷差 が大きい環境で、夜 間を含め臨機応変 に緊急対応できる 能力を有するため。
			昇降機設備保守	1,386	ダイコー 株式会社	随意契約 (特命)	対象設備の技術情 報を保有する同社 しか、速やかな故 障等への対応がで きないため。
			自家用電気工作 物保守	475	中原電気 管理事務 所	随意契約 (特命)	他の電気動力設備 の保守管理と一体 的に実施すること で、円滑な業務の 実施が可能である ため。
			消防設備保守	66	株式会社 東和防災 システム	その他	少額随意契約(1 件5万円以下) 2件
			空調設備保守	154	スガハラ テクノ株 式会社	その他	法令等による専門 知識や技術を要 し、作業等を実施 するための専門的 な設備・施設が必 要であるため。
皿倉山ケーブ ルカーオーバ ーホール等業 務	16,572	皿倉登山鉄道(株)以外に履行 できる業者がないため。	皿倉山ケーブル カー整備業務 (車両バッテリ ー及び充電器更 新作業・車輪整 備・ガイドシー プ斜道車整備)	13,838	日本ケー ブル株式 会社	随意契約 (特命)	同社が製作・納品 したケーブルカー 施設で、業務実施 にあたっては特殊 な専門知識や技術 を必要とし、また、 作業を実施するた めの専門的な設 備・施設も備えて いる唯一の業者で あるため。
			線路灯LED化 工事	2,294	光電工株 式会社	随意契約 (特命)	法令等による専門 知識や技術を要 し、作業等を実施 するための専門的 な設備・施設が必 要であるため。
			軌道バラス部工 事	440	日鉄テッ クスエン ジ株式会 社	随意契約 (特命)	法令等による専門 知識や技術を要 し、作業等を実施 するための専門的 な設備・施設が必 要であるため。

皿倉山ケーブルカー雨漏り調査業務	975	業務の履行において、特殊な技術、知識等を要するので、履行可能な業者が皿倉登山鉄道㈱に特定されるため。	皿倉山ケーブルカーの雨漏り調査にかかる足場架け払い	196	村上建設株式会社	随意契約 (特命)	法令等による専門知識や技術を要し、作業等を実施するための専門的な設備・施設が必要であるため。
			皿倉山ケーブルカーの雨漏りについての専門的調査	550	計測検査株式会社	随意契約 (特命)	法令等による専門知識や技術を要し、作業等を実施するための専門的な設備・施設が必要であるため。
皿倉山ケーブルカー雨漏り補修業務	751	業務の履行において、特殊な技術、知識等を要するので、履行可能な業者が皿倉登山鉄道㈱に特定されるため。	皿倉山ケーブルカーの雨漏り補修業務	476	村上建設株式会社	随意契約 (特命)	法令等による専門知識や技術を要し、作業等を実施するための専門的な設備・施設が必要であるため。
皿倉山ケーブルカー整備部品調達業務	2,820	皿倉登山鉄道㈱以外に履行できる業者がないため。	皿倉山ケーブルカー整備部品の調達業務	2,820	日本ケーブル株式会社	随意契約 (特命)	同社が製作・納品したケーブルカー施設で、業務実施にあたっては特殊な専門知識や技術を必要とし、また、作業を実施するための専門的な設備・施設も備えている唯一の業者であるため。
帆柱自然公園及び皿倉登山道維持管理業務	3,351	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、参加者がなく、当該業務を履行可能なものが1者しかいないことが確認されたため。	帆柱自然公園内の巡視・通報、公園利用者への指導等	500	特定非営利活動法人帆柱自然公園愛護会	随意契約 (特命)	帆柱自然公園内において、日常的に自然公園や動植物の保全・保護活動を行っていることから、その時々々の現地の状況を熟知し、当社と連携した的確な巡視、通報、指導が可能であるため。
			GW期間の表登山道入口通行止めにかかる警備及び誘導業務	753	安全警備株式会社	随意契約 (見積合わせ)	
			帆柱自然公園初日登山等警備業務	415	安全警備株式会社	随意契約 (見積合わせ)	
皿倉山「帆柱公園」駐車場整理	818	皿倉登山鉄道㈱が雇用している誘導員と同じ指揮命令系統のもと、一体で管理する必要があるため。	皿倉山「帆柱公園」駐車場整理	744	安全警備株式会社	随意契約 (見積合わせ)	
皿倉山「帆柱公園」駐車場整理業務【第2期】	629	皿倉登山鉄道㈱が雇用している誘導員と同じ指揮命令系統のもと、一体で管理する必要があるため。	皿倉山「帆柱公園」駐車場整理	572	安全警備株式会社	随意契約 (見積合わせ)	

皿倉山「帆柱公園」駐車場整理業務【第3期】	241	皿倉登山鉄道㈱が雇用している誘導員と同じ指揮命令系統のもと、一体で管理する必要があるため。	皿倉山「帆柱公園」駐車場整理	219	安全警備株式会社	随意契約 (見積合わせ)	
初日の出来訪者への感染防止対策業務	481	皿倉登山鉄道㈱が雇用している誘導員と同じ指揮命令系統のもと、一体で管理する必要があるため。	初日の出来訪者への感染防止対策業務	437	大洋装備株式会社	随意契約 (見積合わせ)	
合計	47,655		合計	27,533			

